



田中 立一
議員

質問 匠の里プロジェクトについて

糸魚川ジオパーク匠の里創生事業「匠の里プロジェクト事業」が始まり、4組の手作り工芸作家の家族を募集している。ワークインレジデンスの1つの形態として移住と交流人口の拡大が期待できる事業だが、現在の申込状況と今後の取組について、考えを伺う。

▼市長答弁

ほぼ移住の意向を固めている方が2組4名、そのほかに調整を進めている方が3組5名である。移住の際には住居の改修を施したのち、家賃及び光熱水費の3年間の補助と初年度の作品制作委託を行うこととしている。

今後の展開については、移住者ならではの視点でまちづくりに参画していただき、地域の活性化を図るとともに、地元の工芸作家等と連携したイベントの開催などにより交流人口拡大につなげていきたいと考えている。

質問

権現荘の経営計画について

権現荘がリニューアルされて1年が経過し、当初予定された収支に届かずに経営計画の見直しを行ったが、取組状況と今後の対応を伺う。

- (1)利用者及び収入増に向けた取組について
- (2)経費節減の取組について
- (3)温泉センター統合の検証について

▼市長答弁

- (1)リニューアル後の昨年8月から1年間の収支では約400万円の黒字となっているが、平成28年度上半期の実績を見た上で年間収支の見直しを行いたい。
- (2)食料の原価率は7月末で43.9%であり、売店は74.3%である。また、6月までに3名の職員を採用して時間外勤務時間の削減に努めている。
- (3)昨年8月以降の日帰り入浴者数については旧温泉センターを合わせた利用者数より2割以上増加している。また、収支については毎年発生していた旧温泉センターへの赤字繰入分約900万円が権現荘の会計の中で補てんされている。

その他質問項目

- 有害鳥獣対策について
- 耕作放棄地の課税強化について



五十嵐健一郎
議員

質問 糸魚川版DMOの作り方について

- (1)進捗状況について
- (2)役割と対策について
- (3)DMC※との連携について
- (4)ジオパーク戦略プロジェクトとの関連について

▼市長答弁

- (1)糸魚川市観光協会が日本版DMO※の候補法人としてこの春に登録され、「組織の法人化」と「旅行業の登録」に向けて、検討委員会を設置し、計画を進めている。
- (2)市としても、観光協会と連携しながら、積極的に参画する中で進めていきたいと考えている。
- (3)観光協会が着地型観光の旅行商品を作っていく中で、旅行会社などのDMCとの連携が重要と考えている。

質問

女性の定住移住促進策について

- (1)成果と分析検証と調査・研究及び今後の策定計画への反映策について
- (2)「糸魚川輝く女性表彰」の制度創設について

▼市長答弁

- (1)男女を問わず、Uターンに必要な仕事や住まい、子育てなどのほか、修学資金の貸与など、幅広い分野で移住定住事業に取り組んでいる。
- (2)今年度、女性活躍推進計画を盛り込んだ第2次いといがわ男女共同参画プランを策定する中で検討していく。

※DMC…地域の知恵、専門性、資源を所有し、イベント・アクティビティ・輸送・運送計画のデザイン・提案に特化したプロフェッショナルなサービスを提供する法人。
Destination Management Companyの略。

※DMO…マーケティングに基づく観光戦略の策定・推進や地域内の幅広い関係者との合意形成など、観光事業のマネジメントを担う機能・組織。
Destination Management Organizationの略。